令和５年度（２０２３年度）　学校経営の方針

北海道室蘭聾学校

○幼児児童生徒の実態
○保護者の願い
○職員の願い
○地域社会の期待　等

学校教育目標

◆明るい子供
（生きたことばを身につけた明るい子供）
◆強い子供
（丈夫な体と強く豊かな心をもつ子供）
◆考える子供
（自分の考えをもち進んで学ぶ子供）

○各諸法令
○学習指導要領
○北海道教育のめざす姿
○特別支援教育の動向　　等

本校の目指す学校像

（1）学ぶ喜びを知り、学ぶ力が身につく学校　（2）社会性が育つ学校　（3）ろう教育にかかわる専門性が確立した学校
（4）学習する環境が整った学校　（5）保護者、地域から信頼される学校

⇩

教職員が『明日行きたくなる職場』　子供たちが『明日行きたくなる学校』　保護者が『通わせて良かったと思える学校』

教育の方針

「子供たちを信頼し、子供たちの力を引き出し伸ばす教育を目指す。」

1　準ずる教育及び障がいの重複化、多様化に応じた教育課程の編成に努める。
2　言語概念の形成とコミュニケーション能力を育成し、「分かる授業」を行う。
3　豊かな心を育み、「生きる力」の育成に努める。
4　様々な人との触れ合いや経験を通じ、自己や物事について広く深く考える指導に努める。
5　食育、健康教育、安全教育の充実に努める。
6　主体的な社会参加と自立に向け、保護者や関係機関との理解と協力のもと、キャリア発達の推進に努める。

経営の方針

「心理的安全性を高め、解決志向で協働する学校経営を目指す。」

1　各学部、寄宿舎及び事務部との情報共有を適切に行い、教職員が互いに尊重し、協力し、支え合う職場づくりを推進する。
2　組織としての工夫及び個々の意識の向上を図り、効果的・効率的な働き方で業務を推進する。
3　教職員の特性を生かし、専門性を高める研修体制や校内体制を整え一人一人の資質向上に努める。
4　地域における幼児児童生徒の成長に望ましい就学の理解と推進に努める。
5　法令等に基づいた服務の遂行に努め、安心・安全な学校運営を行う。
6　保護者や地域に対する学校教育への理解・啓発と協力関係に努める。

今年度の重点

学力の育成　学習指導要領等に基づき、幼児児童生徒の実態に応じた教育課程の編成・改善を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業力の向上に努める。（「見える学力・見えない学力」「個別最適な学び」「協働的な学び」「ＩＣＴの活用推進」「『分かる授業』の改善」「重複障がい教育」「教科指導力」）

「生きる力」の育成　一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮を提供し、「生きる力」の育成に努める。（「音声・文字・手話等の適切な活用」「聴覚活用」「社会で生きるための力」「一人一人に応じた体力の向上」「自律的な態度」「体験的な学習」「学び方を学ぶ」「メタ認知」「ＳＤＧｓの視点」

人材育成・専門性向上　専門性向上のための実践研究及び校内研修の充実に努め、専門性向上のための支援体制の構築を図る。（「組織的な人材育成」「キャリアステージに応じた研修」「ＯＪＴ」「メンタリング」「OODAループ」「リアルタイムフィードバック」）

協働体制による業務の推進　協働体制による効率的・効果的な学校運営を推進し、子供たちに向き合う時間を充実するために業務改善を進める。（「校務の情報化」「時間帯効果」「校内外の教育資源の活用」「迅速・オープンな情報共有」「肯定的な言葉掛け」「Well-being」）

安心・安全の確保　適切な感染症対策等による安全な教育活動を推進する。（「感染症対策を踏まえた教育活動」「校舎内外の整理整頓・環境整備」「安全教育の充実」「人権意識」）

保護者・地域との連携　社会に開かれた学校作りを推進する。（「多様な他者との協働」「交流及び共同学習」「間接的交流（オンライン等）」「保護者等への丁寧な情報提供と相談しやすい環境づくり」「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」）

センター的役割の推進　聴覚障がい教育のセンター的機能の役割を推進し、関係機関との連携、校内外の支援の充実に努める。（「切れ目のない支援」「乳相段階の遠方の子供、保護者への支援」「保健・医療機関、地域との連携」「迅速で的確な情報発信」「総合的な支援体制」）

学校研究課題

研究主題：指導の専門性を高め、確かなコミュニケーションを通して
学習の理解・定着を図る指導法の研究（令和５年度～令和７年度）